

令和 2 年度

授 業 要 綱

(第 6 学年)

福岡歯科大学

統合演習Ⅱ 【演習】

科目番号 OD061402

通年： 688コマ
評価責任者： 尾崎正雄
担当教員： 分野ごとに表記

（一般目標）

安全で質の高い思いやりのある歯科医療を行うために必要な知識を修得する。

（教育方法）

配布プリント、サブノートを中心に、板書、スライド、e-learningシステム等を用いて講義を行う。
定期的に試験を実施し、知識の修得状況を適宜測定する。

（学習方法）

サブノート、配布プリント、教科書等により予習を行うこと。
講義には必ず出席すること。（必要以上に欠席しないこと。）

（評 価）

成績評価の詳細は年度初めに配布する試験実施要領にて確認すること。
成績は試験終了後、個人別に結果を配付する。

（教 科 書）

分野ごとに表記

（参 考 書）

大学から学生へ配布する学習用教材（サブノート）

< 歯内療法学 >

担当教員	阿南 壽、松崎英津子、松本典祥、林 善彦
学習方法	サブノート（実践と連動した流れ）と教科書を主として使用する。重要ポイントはサブノート内に書き込み・マーキングし、オリジナルサブノートを作成して、いつでも見直せるようにする。また、適宜Googleフォームと学生端末を活用した小テストを行い、理解度に応じた授業を行う。
事前事後学習方法	事前：該当範囲のサブノート、教科書を熟読し、疑問点（どこが理解できていないか）をまとめておく。 事後：サブノートの付属問題、該当箇所の実践を解き、理解度をチェックする。
参考書	エンドドンティクス第4, 5版（永末書店）、歯内療法学第5版（医歯薬出版）
その他伝達事項	国家試験では、領域をまたぐ問題が出題される傾向にあるため、基礎科目、臨床科目との関連について知識の整理に努める。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	5月15日	松崎	歯内療法学総論（歯の解剖、根管治療用器具・器材の滅菌、抜髄術式）
2	5月22日	松崎	歯内療法学総論（抜髄術式と治療に用いる器具）
3	5月29日	松崎	診査・診断
4	6月5日	松崎	象牙質知覚過敏症
5	6月12日	松崎	歯髄保存療法
6	6月19日	阿南	歯髄疾患：不可逆性歯髄炎
7	6月26日	松崎	歯髄疾患：不可逆性歯髄炎（続き）
8	7月3日	阿南	根尖性歯周組織疾患、再根管治療
9	7月10日	林	歯髄血管再生療法、根未完成歯の歯内療法
10	7月17日	松崎	歯内-歯周疾患、根管充填
11	7月31日	松崎	外科的歯内療法
12	8月21日	松崎	歯の吸収、歯の漂白
13	8月28日	松崎	偶発症
1	9月11日	松崎 他	診査・診断、根管治療用器材（CBCT、マイクロスコープ、Ni-Tiロータリーファイル含む）
2	9月18日	松本 他	歯髄保存療法、高齢者の歯内治療、根未完成歯の歯内治療
3	9月25日	松崎 他	抜髄、根管拡大・形成、根管充填
4	10月9日	阿南 他	感染根管治療、再根管治療
5	10月16日	阿南 他	外科的歯内療法、歯の外傷、破折、歯の吸収、歯の漂白
6	10月30日	阿南 他	歯内-歯周疾患＋緊急処置＋偶発症
7	11月16日	阿南、松崎、松本	その他（重点項目）

<保存修復学>

担当教員	米田雅裕、山田和彦、畠山純子、林善彦
学習方法	前期はサブノートを使用し、幅広い領域の重要な部分を理解する。後期は国家試験の過去問から傾向を探り、対策問題を中心に解説する。
事前事後学習方法	サブノートを事前に学習し、疑問点を確認しておく。各授業で扱う内容について、対応する国家試験問題を解き、自分で答えを調べる。
参考書	なし（サブノートを中心に授業をします）
その他伝達事項	国家試験対策として、国家試験問題を解く。関連内容について、誤答肢も含めて理解を深める。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	5月15日	畠山	1. 歯の構造と機能, 2. 齲蝕, 3. 齲蝕の診査
2	5月22日	米田	4. Tooth wear, 5. 窩洞形成
3	5月29日	畠山	6. レジン接着システム
4	6月5日	林	7. コンポジットレジンの組成と構造, 8. コンポジットレジンの基本的修復手順
5	6月12日	林	9. コンポジットレジン充填窩洞, 10. コンポジットレジン充填の準備と使用する器具
6	6月19日	林	11. メタルインレーの基本
7	6月26日	林	12. コンポジットレジンインレー修復, 13. セラミックインレー修復
8	7月3日	林	14. グラスアイオノマーセメント修復, 15. セメント、仮封材
9	7月10日	林	14. 漂白, 15. ベニア修復, 16. レーザー
10	7月17日	林	17. 手用切削器具, 18. 回転切削器具, 19. 追加情報
11	7月31日	林	レジン 接着システムおよびコンポジットレジン 充填
12	8月21日	林	コンポジットレジン インレーおよびセラミックインレー
13	8月28日	米田	弱点補強講義
14, 15	9月11日	米田	国試対策(窩洞形態、切削器具、Tooth Wear 3限:必修と一般問題、4限:臨床実地問題)
16, 17	9月18日	畠山	国試対策(レジン接着システム 3限:必修と一般問題、4限:臨床実地問題)
18, 19	9月25日	畠山	国試対策(CR、セラミックインレー 3限:必修と一般問題、4限:臨床実地問題)
20, 21	10月9日	山田	国試対策(インレー、GIセメント充填 3限:必修と一般問題、4限:臨床実地問題)
22, 23	10月16日	米田	国試対策(漂白、ベニア修復 3限:必修と一般問題、4限:臨床実地問題)
24, 25	10月30日	米田	国試対策(レジン接着システム 3限:必修と一般問題、4限:臨床実地問題)
26, 27	11月16日	米田	国試対策(齲蝕の診査 3限:必修と一般問題、4限:臨床実地問題)
28, 29	10月9日	山田	卒業試験直前対策 (全ての範囲 3限:必修と一般問題、4限:臨床実地問題)

＜歯周病学＞

担当教員	坂上竜資、吉永泰周、大城希美子
学習方法	サブノートを利用して幅広く重要項目について説明し、その知識をもとに国家試験の過去問の解き方を解説する。模試などが始まる時期になると模試の問題などの解説も行っていく。
事前事後学習方法	講義前に関連する分野のサブノートを予習し、講義に臨む。 講義後は、その日のうちに重要項目について復習し理解を深め、暗記すべき点については暗記する。
参考書	なし、サブノートを使用
その他伝達事項	サブノートの中に国家試験合格に必要な知識はすべて入っているため、前期はサブノートをよく読み、内容を説明できるように理解することに務める。また暗記すべき点はきちんと暗記して、曖昧な知識にしない。後期になったら、身につけた知識を使って国家試験の過去問を解き、知識の使い方を身につける。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	5月12日	坂上竜資	歯周組織の解剖、歯周病の病態
2	5月12日	吉永泰周	歯周病の分類、特殊な歯周病
3	5月26日	坂上竜資	歯内歯周病変、ペリオドンタルメディスン
4	5月26日	吉永泰周	咬合性外傷
5	6月9日	大城希美子	歯周病のリスクファクター
6	6月9日	吉永泰周	歯周組織検査
7	6月23日	坂上竜資	SRP、LDDS
8, 9	6月23日, 30日	吉永泰周	歯周治療の流れ、歯周基本治療、治療方法の選択
10	6月30日	坂上竜資	切除療法・組織付着療法
11, 12	7月15日, 21日	坂上竜資	歯周組織再生療法
13	7月21日	大城希美子	歯周外科治療の術式
14, 15	7月29日	吉永泰周	根分岐部病変の治療
16	8月18日	吉永泰周	歯周外科治療の選択
17, 18	8月18日, 9月8日	坂上竜資	歯周形成外科の術式と選択
19	9月8日	大城希美子	外科器具、メンテナンスとSPT
20	9月28日	吉永泰周	各種歯周外科治療の術式と特徴
21	9月28日	坂上竜資	特殊な歯周病
22	10月12日	大城希美子	歯周基本治療
23	10月12日	坂上竜資	咬合性外傷とその治療
24	10月26日	吉永泰周	歯周炎のリスクファクター、ペリオドンタルメディスン
25	10月26日	坂上竜資	根分岐部病変の治療法と歯周外科治療の選択
26	11月13日	大城希美子	歯周組織検査
27	11月13日	吉永泰周	歯周形成外科治療、メンテナンスとSPT

<矯正歯科学>

担当教員	玉置幸雄、阿部朗子、高田俊輔
学習方法	実力試験までは4年講義プリントとサブノートを中心に、幅広い領域の重要な部分を説明する。 国家試験の過去を題材に、対策問題を解説する。
事前事後 学習方法	サブノートに記載の過去問を事前に解き授業に臨む。疑問に思う点を事前に確認しておく。 各授業の内容について復習問題プリントを配布するので、解いてミスした内容をサブノートに記載する。
参考書	医歯薬出版 歯科矯正学（第6版）、矯正歯科治療 この症例にこの装置
その他 伝達事項	サブノート、4年講義プリント、実習プリントを毎回持参すること。 各講義の前に、サブノート偶数ページの改変問題（26題）を毎回解いてから講義やテストに臨むこと。 サブノート奇数ページの参考問題を講義後に解くこと。 講義中に理解が難しい場合は、moodleの録画講義で繰り返し確認すること。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	5月11日	玉置	顎顔面・歯列の成長発育を説明できる。 6人体の発生・成長・発達・加齢 ウ 口腔・顎顔面の成長・発育 a 歯・歯列の発育(発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢) b 上顎骨・下顎骨の成長の特徴(成長の時期、骨形成様式) 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 I 頭部の成長・発育 a 頭蓋 5歯列・咬合異常の予防 b 歯列、咬合 口腔習癖とその対応(口腔・顎の機能の発達 嚥下)
2,3	5月18日	玉置 阿部	不正咬合の病状・病態、先天異常と不正咬合との関連を説明できる。 6不正咬合の病因・病態 7 正常咬合の概念と成立の要件 イ 不正咬合の種類 ウ 不正咬合の分類 I 不正咬合の原因 オ 不正咬合による障害 1口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常 7 口腔・顎顔面の先天異常 イ 遺伝性疾患(主に口腔内に症状がみられる) ウ 遺伝性疾患(主に頭蓋・顎顔面に症状がみられる) I 染色体異常
4,5	6月1日	阿部	不正咬合の検査・診断を説明できる。 7不正咬合の診断 7 診察 イ 検査 口腔検査、顎口腔機能検査 a 下顎運動検査 b 顎関節・筋機能検査 (筋電図検査を含む)
6,7	6月15日	玉置	矯正力と固定、矯正用材料を説明できる。 8矯正力と固定 7 狭義の矯正力 I 固定 9矯正装置 7 舌側弧線装置 a リンガルアーチ オ 機能的矯正装置 a アクチバトール ウ マルチブラケット装置 10歯科矯正用材料 7 線材料 イ バンド、ブラケット、チューブ ウ エラスティック材、コイルスプリング I 接着用材料 オ 床用レジン、熱可塑性樹脂

8, 9	6月29日	阿部	混合歯列期の上顎前突、開咬、過蓋咬合、反対咬合、側方偏位、口蓋裂の矯正治療について検査、診断、治療の流れを説明できる。 8矯正力と固定 ア 狭義の矯正力 イ 顎整形力 ウ 生体反応 エ 先天性疾患を伴う不正咬合の治療
10, 11	7月6日	玉置	永久歯列期のマルチブラケット治療について検査、診断、治療の流れを説明できる。 10不正咬合の治療 ウ 永久歯列期の不正咬合の治療 8矯正力と固定 ア 狭義の矯正力 ウ 生体反応 エ 固定 歯科矯正用アンカースクリュー 永久歯列期のマルチブラケット治療と外科的矯正治療について検査、診断、治療の流れを説明できる。 10不正咬合の治療 ウ 永久歯列期の不正咬合の治療 オ 顎変形症の治療
12, 13	7月13日	玉置	不正咬合の診断・治療の必修事項、永久歯列期の治療の重要ポイントの説明ができる。 10不正咬合の治療 イ 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 ウ 永久歯列期の不正咬合の治療
14, 15	8月3日	玉置	サブノートを用いた知識整理
16, 17	8月24日	玉置	他科との協力による治療の説明ができる。サブノートを用いた知識整理 10不正咬合の治療 ウ 永久歯列期の不正咬合の治療 エ 先天性疾患を伴う不正咬合の治療 オ 顎変形症の治療 カ 補綴・歯周治療との併用
18	9月2日	玉置	保定、偶発症、不正咬合の予防の説明ができる。 10不正咬合の治療 ア 不正咬合の予防 イ 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 キ 治療中の管理 ク 保定 ケ 偶発症 5歯列・咬合異常の予防 ア 歯列・咬合異常の要因 エ 口腔習癖とその対応
19, 20	9月3日	玉置	サブノートを用いた知識整理
1, 2	9月29日	玉置	不正咬合の検査・診査診断を概括できる（まとめ）。
3, 4	9月30日	玉置	咬合歯列期の矯正治療を概括できる（まとめ）。
5, 6	10月13日	玉置	マルチブラケット治療を概括できる（まとめ）。
7, 8	10月21日	玉置、高田	外科的矯正治療、口唇口蓋裂治療を概括できる（まとめ）。
9, 10	10月27日	阿部、玉置	矯正器具、矯正装置を概括できる（まとめ）。
11, 12	11月17日	玉置	歯科矯正学の必須事項を総括できる（まとめ）。

<小児歯科学>

担当教員	尾崎 正雄、 岡 暁子
学習方法	その日の授業の項目について、サブノートと配布プリントを使用し、概略とポイントを説明し、関連した国家試験問題を、誤解しやすい部分を強調し、解説する。
事前事後学習方法	事前は、サブノートの該当箇所に通し、理解できない箇所は教科書、参考書、実践の該当箇所を読む。疑問に思う点を事前に確認しておく。事後は、配布プリントの強調箇所に通し、授業項目の問題を実践でチェックする。
参考書	小児歯科サブノート、小児の口腔科学 第4版（学建書院）、小児歯科学基礎・臨床実習（医歯薬出版）
その他 伝達事項	小児歯科は範囲が広いので多くの問題に接して問題に慣れること。また、小児の発育と年齢との関係を理解し、咬合誘導の意味と疾患と関連して学習する。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1, 2	5月8日	尾崎	小児の成長と発育
3	5月20日	岡	歯・歯列の発育
4, 5	5月27日	岡	歯の形態異常・萌出異常
6, 7	6月4日	尾崎	齲蝕と歯冠修復
8, 9	7月2日	尾崎	歯の外傷, 歯内療法
10, 11	7月8日	岡	齲蝕の診断と処置
12, 13	7月16日	尾崎	咬合誘導
14, 15	7月22日	岡	保隙装置
16, 17	8月5日	岡	軟組織疾患
18, 19	8月20日	岡	小児の外科的処置
20, 21	9月2日	岡	成長発育総論と歯科的対応法
1, 2	10月6日	尾崎	小児の成長と発育、顎顔面の成長
3, 4	10月20日	岡	治療上注意を有する疾患と齲蝕予防
5, 6	11月4日	岡	齲蝕に対する治療計画立案の実際
7, 8	11月6日	尾崎	小児の外科的処置
9, 10	11月10日	岡	臨床実地をベースとした治療方針

<障害者歯科学>

担当教員	小島 寛
学習方法	プリントを配布して解説する。内容は歯科医師国家試験に沿ったものとする。
事前事後 学習方法	疾患・症候群の過去の出題傾向、対応法の過去の出題傾向を参照し、頻度の高いものから順に確実に覚える。
参考書	スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科（知識の確認） Syndrome of the Head and Neck（詳しく知りたい場合）
その他 伝達事項	

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	5月22日	小島 寛	ノーマライゼーション、パターンリズムとインフォームドコンセント、国際生活機能分類、関連法令
2	5月29日	小島 寛	Down症候群、先天性心疾患
3	6月17日	小島 寛	発達障害、脳性麻痺、てんかん
4	6月17日	小島 寛	各種疾患、症候群
5	7月1日	小島 寛	小児ウイルス性疾患、対応法
6	8月28日	小島 寛	歯の異常を伴う疾患
7	10月23日	小島 寛	国際生活機能分類、対応法
8	10月23日	小島 寛	各種疾患、症候群

<有床義歯学>

担当教員	都築 尊、川口智弘、吉田兼義、濱中一平
学習方法	サブノートを解説（インプット）し、こちらで準備したオリジナル問題を解く（アウトプット）形を基本形態とする。インプット：アウトプットは3：7の割合で行う。問題は必修レベル、通常レベル、高難易度レベルに分けて提示し、自分の理解度を確認する。
事前事後学習方法	講義前日に30分の予習。講義に180分インプットとアウトプット。間違えた問題から自分の弱点を把握する。講義当日の夕方60分の復習。
参考書	教科書、サブノート。
その他伝達事項	詳細はすでにMoodleにアップしているのでそちらを参考にしてください。実力試験で有床義歯10点中5点に満たない学生はメールで呼びかけて、上記の30分予習、60分の復習を都築と901教室で行う。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1, 2	5月12日	川口	前処置、印象採得、個人トレー、筋圧形成、精密印象採得
3, 4	5月26日	川口	作業用模型の製作、咬合採得、
5, 6	6月9日	川口	咬合器、模型の咬合器装着、チェックバイト、顎路調節、
7, 8	6月30日	吉田	人工歯の選択、人工歯排列、咬合平衡
9, 10	7月7日	吉田	金属床義歯、重合
11, 12	7月14日	吉田	リマウント、削合、装着、患者指導、経過観察
13, 14	7月21日	吉田	義歯修理、リライン・リベース、顎義歯
15, 16	8月4日	濱中	部分床義歯設計の原則、支持・把持・維持の考え方、義歯の動き、リジッドサポート
17, 18	8月18日	濱中	印象採得、予備サベイング、個人トレー、前処置、作業用模型の製作、本サベイング、咬合床の製作
19, 20	9月1日	濱中	咬合採得、人工歯排列、咬合様式、クラスプ、フレームワークの製作、オルタードキャストインプレッション
21, 22	9月8日	濱中	大連結子、フレームワークの試適、重合、装着、アタッチメント、オーバーデンチャー、即時義歯
1, 2	9月28日	都築	弱点強化
3, 4	10月8日	都築	弱点強化
5, 6	10月12日	都築	弱点強化
7, 8	10月26日	都築	弱点強化
9, 10	11月9日	都築	弱点強化
11, 12	11月12日	都築	弱点強化

<冠橋義歯学>

担当教員	松浦尚志、山口雄一郎
学習方法	前期の授業（9月3日まで）は、冠橋義歯学のサブノートを中心に基本事項を復習し、実力試験で理解度を確認し、理解が不足しているところを復習する。後期の授業では問題演習を行う。□
事前事後学習方法	授業前にサブノートに目を通して、授業に臨む。疑問に思う点を事前に確認して、授業中に解決できるように十分に準備する。授業後に疑問が生じた場合、調べてもわからないことは質問する。
参考書	基本はサブノート。問題演習は実践や予備校模試の解説書。
その他 伝達事項	実践の歯科医師国家試験過去問を丁寧に解く。 →正答選択肢だけではなく、誤答選択肢に関連する用語等をチェックする。とにかく、分からないものは、全て調べ上げること。個々を紐づけして網羅的に理解するように努めること。鵜呑み暗記は記憶が長続きしないから、意味がないことを頭に入れること。なぜか、をいつも頭に入れてその理由が分かるように努めるべきである。その上で、分からないことは躊躇せず、質問する事。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1, 2	5月11日	松浦 尚志	検査、診断
3, 4	5月25日	松浦 尚志	治療計画
5, 6	6月8日	松浦 尚志	補綴前処置
7, 8	6月22日	松浦 尚志	支台築造、支台歯形成
9, 10	7月6日	松浦 尚志	プロビジョナルレストレーション、印象採得
11, 12	7月20日	松浦 尚志	顎間関係の記録、ロストワックス法による技工
13	8月12日	松浦 尚志	ろう付け
14, 15	8月17日	松浦 尚志	CAD/CAMIによる技工
16, 17	8月31日	松浦 尚志	口腔内試適、装着
18, 19	9月3日	松浦 尚志	術後管理
1, 2	10月2日	松浦 尚志	問題演習 1, 2
3, 4	10月5日	山口 雄一郎 柴口 塊	問題演習 3, 4
5, 6	10月19日	山口 雄一郎 柴口 塊	問題演習 5, 6
7, 8	11月2日	松浦 尚志	問題演習 7, 8

<口腔インプラント学>

担当教員	城戸寛史 加倉加恵
学習方法	国家試験問題の過去問題の解説 サブノートを利用した講義
事前事後 学習方法	実践の問題を解き疑問点を整理する。サブノートに目を通し、講義の予習復習を行う。
参考書	サブノート、よくわかる口腔インプラント学
その他 伝達事項	

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	5月18日	城戸寛史	国家試験過去問題の解説（実践）
2	6月10日	城戸寛史	国家試験過去問題の解説（実践）
3,4	7月16日	城戸寛史	サブノート（前半）範囲の講義
1	11月5日	加倉加恵	サブノート（後半）範囲の講義①
2	11月5日	城戸寛史	サブノート（後半）範囲の講義②

<口腔外科（口腔外科学分野＋口腔腫瘍学分野）>

担当教員	平木昭光、橋本憲一郎、米津博文
授業方法	その日の授業の対象疾患について、サブノートと配布プリントを使用し、概略とポイントを説明し、その疾患に関連した国家試験問題を、誤解しやすい部分を強調し、解説する。
事前事後学習方法	事前は、サブノートの該当箇所に目を通し、理解できない箇所は教科書、参考書、実践の該当箇所を読む。疑問に思う点を事前に確認しておく。事後は、配布プリントの強調箇所に目を通し、その疾患の問題を実践でチェックする。
参考書	口腔外科学（第4版）、最新口腔外科学（第5版）ともに医歯薬出版
その他伝達事項	範囲が広いので多くの問題に接して問題に慣れること。検査値や検査の意味も疾患と関連して学習する。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1, 2	5月8日	米津	顎関節疾患
3, 4	5月22日	米津	損傷
5, 6	5月29日	橋本	炎症
7, 8	6月5日	米津他	血液疾患
9, 10	6月12日	米津他	口唇口蓋裂
11, 12	6月19日	橋本	感染症、内分泌疾患、自己免疫疾患
13, 14	7月3日	米津他	先天性疾患、症候群
15, 16	7月10日	米津他	全身疾患
17, 18	7月17日	橋本	嚢胞
19, 20	7月31日	米津他	全身疾患（続き）、神経疾患
21, 22	8月21日	平木、橋本	口腔粘膜疾患
23, 24	8月26日	平木、橋本	唾液腺疾患
25, 26	9月4日	平木、橋本	腫瘍
1, 2	9月11日	米津他	顎関節＋損傷
3, 4	9月18日	橋本	炎症＋感染症（ウイルス、特異性炎等）＋免疫異常（自己免疫、AIDS等）
5, 6	9月25日	米津他	顎変形＋口唇口蓋裂
7, 8	10月2日	米津他	血液＋出血
9, 10	10月9日	平木	口腔癌
11, 12	10月23日	橋本	嚢胞＋歯原性腫瘍
13, 14	10月30日	平木	唾液腺＋粘膜疾患
15, 16	11月13日	平木、橋本、米津	その他（重点項目）

<麻酔学>

担当教員	谷口省吾、富永晋二、野上堅太郎
学習方法	国家試験の過去問から傾向を探り、対策問題を中心に解説する。
事前事後 学習方法	過去問を事前に解き授業に臨む。疑問に思う点を事前に確認しておく。 各授業で扱う内容について復習プリントを渡すので、それを解き自分で答えを調べる。
参考書	なし（サブノートを中心に授業をします）
その他 伝達事項	講義で示された重要点を整理すること

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	5月13日	谷口省吾	全身麻酔法 1
2	5月13日	谷口省吾	全身麻酔法 2
3	5月21日	野上堅太郎	検査1
4	5月21日	野上堅太郎	検査2
5	6月3日	富永晋二	偶発症1
6	6月3日	富永晋二	偶発症2
7	6月18日	野上堅太郎	高齢者、妊婦
8	6月18日	野上堅太郎	一次救命処置、二次救命処置
9	6月24日	谷口省吾	有病者1
10	6月24日	谷口省吾	有病者2
11	7月15日	谷口省吾	有病者3
12	7月15日	富永晋二	偶発症3
13	7月30日	富永晋二	局所麻酔法
14	7月30日	富永晋二	精神鎮静法
15	8月19日	谷口省吾	全身麻酔法3
16	8月19日	谷口省吾	全身麻酔法4
17	9月7日	谷口省吾	ペインクリニック
18	9月7日	野上堅太郎	必修・その他
1	9月16日	谷口省吾	全身麻酔に関する関連問題の演習と解説
2	9月16日	谷口省吾	検査に関する関連問題の演習と解説
3	10月7日	富永晋二	偶発症（血管迷走神経反射、局所麻酔薬中毒）に関する関連問題の演習と解説
4	10月7日	富永晋二	局所麻酔法と鎮静法に関する関連問題の演習と解説
5	10月21日	谷口省吾	有病者に関する関連問題の演習と解説
6	10月21日	谷口省吾	ペインクリニックに関する関連問題の演習と解説
7	11月4日	野上堅太郎	一次救命処置、二次救命処置に関する関連問題の演習と解説
8	11月4日	野上堅太郎	偶発症（過換気症候群、アフィリキシーショック）に関する関連問題の演習と解説

<画像診断学>

担当教員	香川豊宏
学習方法	サブノートを中心に学習し、補足用に配布するプリントと合わせて基本的事項の復習を行います。また、過去問を随時提示し、考え方について学習をします。
事前事後学習方法	サブノートおよび配付資料を復習し、実践などの過去問を複数回、解いていきましょう。少なくとも過去問に関しては分からない語句や内容が無いようにしておくことが重要です。
参考書	なし（サブノートおよび配付資料を中心に授業をします）
その他伝達事項	国家試験、卒業試験においては誤答はちゃんと誤答たる理由があります。正答だけでなく、誤答のどこを修正したら正答になるのかも学習しましょう。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	5月14日	香川豊宏	放射線物理、放射線の単位
2	5月14日	香川豊宏	デジタルとアナログ、撮影機器の基本的事項
3	5月28日	香川豊宏	画像形成の基本、画像に関わる各種効果
4	5月28日	香川豊宏	放射線の障害、放射線治療
5	6月11日	香川豊宏	口内法
6	6月11日	香川豊宏	パノラマエックス線撮影
7	6月25日	香川豊宏	口外法、造影検査
8	6月25日	香川豊宏	CT
9	7月9日	香川豊宏	MRI、超音波検査
10	7月9日	香川豊宏	核医学検査
11	7月27日	香川豊宏	CT/MIRの解剖
12	7月27日	香川豊宏	超音波、その他の解剖
13	8月6日	香川豊宏	嚢胞の画像診断
14	8月6日	香川豊宏	良性腫瘍の画像診断
15	8月26日	香川豊宏	悪性腫瘍の画像診断
16	8月26日	香川豊宏	顎関節の画像診断
17	8月27日	香川豊宏	炎症の画像診断
18	8月27日	香川豊宏	骨折、上顎洞の画像診断、系統疾患

<高齢者歯科学>

担当教員	内藤 徹
学習方法	講義は、プレゼンテーションに対応したサブノートと配布プリントを使用して実施する。当該領域に関連した国家試験問題の解説も併せて行う。
事前事後学習方法	事前の学習としては、サブノートの該当箇所に目を通す。事後は配布プリントによって知識の定着を促す。国家試験の対策として最も確実なものは、教科書によって知識を確実なものにすることである。
参考書	佐藤裕ら編集『よくわかる高齢者歯科学』永末書店、2018。
その他 伝達事項	

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	5月13日	内藤	摂食嚥下機能の評価
2	5月20日	内藤	摂食嚥下機能のリハビリテーション
3	5月20日	内藤	球麻痺と仮性麻痺（摂食嚥下障害を生じやすい病態）
4	6月3日	内藤	高齢者の特性・加齢変化
5	6月3日	内藤	口腔の加齢変化
6	7月1日	内藤	低栄養、サルコペニア、フレイル
7	7月1日	内藤	高齢者の栄養管理と栄養療法
8	7月15日	内藤	医療経済・社会保障
9	7月15日	内藤	介護保険・国民医療費
10	7月22日	内藤	脳血管疾患と認知症
11	7月22日	内藤	神経筋疾患
12	8月19日	内藤	有病者の歯科治療
13	8月19日	内藤	高齢者に多い疾患
1	10月6日	内藤	摂食嚥下障害の解剖と機能のスクリーニング・診断
2	10月6日	内藤	摂食嚥下障害の治療とリハビリテーション
3	10月20日	内藤	認知症の病態と診断、治療
4	10月20日	内藤	終末期の医療とQuality of Life
5	11月16日	内藤	介護保険と高齢者のための社会福祉
6	11月16日	内藤	フレイル、オーラルフレイルと高齢者の栄養

<訪問歯科>

担当教員	森田 浩光、牧野路子
学習方法	サブノートや「口腔健康管理マニュアル」（昨年配布済）を使用し、幅広い領域の重要な部分を説明する。併せて、国家試験の過去問から傾向を探り、対策問題を中心に解説する。
事前事後学習方法	サブノートおよび「口腔健康管理マニュアル」を用いて予習。関連過去問を事前にチェック
参考書	有病高齢者歯科治療のガイドライン（上）（下）（国家試験だけでなく臨床でも有用なので購入を勧める）
その他 伝達事項	国家試験対策として過去問（moodleに設問・解説を掲載済）を解き、十分に理解する。 →「実践」も含めて正答選択肢だけではなく、誤答選択肢に関連する用語等をチェックする。 →誤答選択肢も重要語句が多く、他の年度で関連問題が出題されることが多い。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	5月27日	森田 浩光	全身疾患を有する患者への配慮①（循環器疾患①）
2	5月27日	森田 浩光	全身疾患を有する患者への配慮②（循環器疾患②）
3	7月9日	森田 浩光	院内感染対策
4	7月9日	森田 浩光	チーム医療・災害時医療
5	9月1日	森田 浩光	全身疾患を有する患者への配慮③（喘息、アレルギー、妊婦、消化器疾患）
6	9月1日	森田 浩光	全身疾患を有する患者への配慮④（肝疾患、甲状腺疾患、自己免疫疾患、ステロイド服用患者）
7	11月5日	牧野 路子	介護を必要とする疾患（認知症、脳血管疾患）
8	11月5日	牧野 路子	在宅医療、在宅支援（訪問歯科診療）

<内科学>

担当教員	大星 博明
学習方法	歯科医師に必要な内科学の重要知識を国家試験に頻出する問題を中心に学習する
事前事後 学習方法	授業前に3年生、5年生の内科学講義資料、内科の教科書に目を通して、授業に臨む。疑問に思う点を事前に確認して、授業中に解決できるように十分に準備する。
参考書	知識の確認は配付資料。問題演習は実践。
その他 伝達事項	実践の歯科医師国家試験過去問を丁寧に解く。 →正答選択肢だけではなく、誤答選択肢に関連する用語等をチェックする。 →問題に関連する領域の知識を再確認し理解しておく（どんな改題があり得るかを考えてみる）。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	6月17日	大星 博明	内科の主要な症候、バイタルサイン
2	7月8日	大星 博明	貧血、検査所見
3	8月4日	大星 博明	生活習慣病(内臓肥満症候群、糖尿病)
4, 5	8月28日	大星 博明	生活習慣病(高血圧症)、易出血性、呼吸器疾患、内分泌疾患
1, 2	10月29日	大星 博明	高齢者に多い疾患(心疾患、脳血管障害、神経疾患)

<生化学>

担当教員	梅津 桂子
学習方法	講義で使用する書き込み用資料は全て生化学サブノートに掲載している（前期の講義はページ右上の番号に、後期の講義番号はタイトル記載の番号に対応）。講義中に重要語句について書き込みながら確認し、必修レベル問題や国家試験過去問の解説を行う。後期のまとめ講義資料に掲載している国家試験過去問については、重要ポイントの解説を行い、基本的に自己学習課題とする。
事前事後学習方法	事前にサブノートに掲載の問題や書き込み部分を予習しておくことも可能であるが、重要なのは講義後に十分に復習して知識を体系的に理解することである。前期1-2は必修レベルの知識を問題形式とした内容、前期3-8は国家試験の過去問とそれに対応する知識の整理、後期1-5の「まとめ」資料は重要ポイントを比較しながら体系的にまとめる資料となる。
参考書	口腔生化学（医歯薬出版）第5版、Essential細胞生物学（南江堂）
その他 伝達事項	

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	5月19日 3限	梅津 桂子	基本的用語の確認1：硬組織 結合組織 必修レベルの知識を問題形式で確認する
2	5月19日 4限	梅津 桂子	基本的用語の確認2：血清カルシウム調節 唾液 必修レベルの知識を問題形式で確認する
3	6月 3日 5限	梅津 桂子	国家試験過去問：結合組織1：総論 線維成分 重要な国家試験過去問について必要な知識を整理した上で理解する
4	7月 7日 3限	梅津 桂子	国家試験過去問：結合組織2：基質成分 基底膜 重要な国家試験過去問について必要な知識を整理した上で理解する
5	7月 7日 4限	梅津 桂子	国家試験過去問：硬組織のタンパク質 石灰化機構 重要な国家試験過去問について必要な知識を整理した上で理解する
6	7月20日 5限	梅津 桂子	国家試験過去問：血清カルシウム調節ホルモン 重要な国家試験過去問について必要な知識を整理した上で理解する
7	8月12日 1限	梅津 桂子	国家試験過去問：唾液1：総論 無機成分とその作用 重要な国家試験過去問について必要な知識を整理した上で理解する
8	8月12日 2限	梅津 桂子	国家試験過去問：唾液2：重要なタンパク質成分とその作用 重要な国家試験過去問について必要な知識を整理した上で理解する
9	8月24日 3限	梅津 桂子	まとめ1：重要なタンパク質：タンパク質の生合成について確認した上で、生体内の重要なタンパク質の構造と機能を体系的にまとめる
10	10月14日 3限	梅津 桂子	まとめ2：硬組織の無機成分と石灰化機構：エナメル質と骨・象牙質・セメント質について、組成や石灰化機構を比較しながらまとめる
11	10月14日 4限	梅津 桂子	まとめ3：血清カルシウム代謝と調節：血清カルシウムの調節に関わる3つのホルモンについて比較しながらまとめると共に、ホルモン間の調節機構を理解する
12	11月11日 3限	梅津 桂子	まとめ4：唾液の成分：主な唾液のタンパク質について作用や特徴を比較しながらまとめる
13	11月11日 4限	梅津 桂子	まとめ5：タンパク質生合成や構造についての重要語句をコラーゲン生合成を例に確認する

<感染生物学>

担当教員	田中芳彦、永尾潤一
学習方法	サブノートを使用し、前期と後期で全体を2度幅広い領域の重要な部分を説明する。 また、国家試験の過去問などから傾向を探り、対策問題を中心に解説する。
事前事後学習方法	サブノートに記載の過去問を事前に解き授業に臨む。疑問に思う点を事前に確認しておく。
参考書	教科書：口腔微生物学－感染と免疫－（学建書院）、2・3年生時のプリント資料
その他 伝達事項	国家試験対策として過去問をひたすら解くのではなく、「出題のねらい」を意識して学習する。改変問題を出題されても対応できる実力を身につける。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	5月15日	永尾潤一	微生物学1、微生物の種類と分類、構造と機能、サブノートp.33～38
2	5月15日	田中芳彦	免疫学1、自然免疫と獲得免疫、サブノートp.3～12
3	6月10日	永尾潤一	微生物学2、口腔常在菌、歯垢、う蝕、サブノートp.39～41、p.44～45
4	6月26日	永尾潤一	微生物学3、歯周病、口腔微生物と全身疾患、サブノートp.41～43、p.45～46、p.49
5	6月26日	田中芳彦	免疫学2、免疫系担当臓器・細胞、サブノートp.13～20
6	7月13日	永尾潤一	微生物学4、う蝕・歯周病以外の口腔感染症、全身における感染症（細菌、真菌）、サブノートp.47～53、p.58～59
7	8月4日	永尾潤一	微生物学5、全身における感染症（ウイルス）、サブノートp.54～57、p.59～60
8	9月4日	田中芳彦	免疫学3、免疫異常、サブノートp.21～29
9	9月4日	永尾潤一	微生物学6、滅菌と消毒、薬剤耐性菌、サブノートp.61～63
10	10月7日	田中芳彦	免疫学4、免疫・正常構造と機能、サブノートp.3～12
11	10月7日	永尾潤一	微生物学7、口腔感染症（う蝕・歯周病）、サブノートp.39～46
12	11月10日	田中芳彦	免疫学5、免疫・病因と病態、サブノートp.13～29
13	11月10日	永尾潤一	微生物学8、全身における感染症、サブノートp.50～60

<生体工学>

担当教員	都留寛治、丸田道人、梶本昇、佐藤平
学習方法	サブノートの内容を完全に理解できるように学習する。
事前事後学習方法	講義前および講義後にMoodle上にアップロードした穴埋め問題を活用し、知識の定着を確認する。
参考書	スタンダード歯科理工学
その他伝達事項	必要最低限の必須事項（分類、組成、役割、性質、硬化反応など）については必ず暗記すること。この努力なくして成績向上はあり得ません。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1, 2	5月20日	丸田道人	第1章：材料の性質、第2章：歯科用印象材
3, 4	6月2日	都留寛治	第3章：歯科用石膏、第4章：パターン材、第5章：歯科用埋没材
5	6月4日	梶本 昇	第6章：歯科用合金
6, 7	6月29日	丸田道人	第7章：歯科用セラミックス、第8章：義歯床用レジン
8, 9	7月1日	都留寛治	第9章：コンポジットレジン・歯質接着
10, 11	8月3日	梶本 昇	第10章：セメント、第11章：切削・研磨
12	8月5日	丸田道人	第12章：臨床用材料
13	8月26日	都留寛治	第1章：材料の性質、第2章：歯科用印象材
14	9月10日	梶本 昇	第3章：歯科用石膏、第4章：パターン材、第5章：歯科用埋没材
15, 16	9月17日	丸田道人	第6章：歯科用合金、第7章：歯科用セラミックス、第8章：義歯床用レジン
17, 18	10月16日	都留寛治	第9章：コンポジットレジン・歯質接着、第10章：セメント
19, 20	11月6日	梶本 昇	第11章：切削・研磨、第12章：臨床用材料

＜解剖学＞

担当教員	畠山 雄次
学習方法	講義中におこなわれる配布プリント、およびサブノートを中心に講義を展開する。
事前事後 学習方法	サブノート、および以前の講義プリントを事前に目を通しておくこと。また講義で配付されたプリントをもう一度復習すること。
参考書	口腔解剖学第2版（医歯薬出版）、グレイの解剖学原著第3版
その他 伝達事項	毎回の講義にサブノートを持参すること。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	6月2日	畠山	筋
2	6月2日	畠山	脈管
3	7月14日	畠山	神経 1
4	7月14日	畠山	神経 2
5	8月11日	畠山	骨 1
6	8月11日	畠山	骨 2
7	8月25日	畠山	内臓 1
8	8月25日	畠山	内臓 2
1	9月10日	畠山	骨、筋、脈管
2	10月1日	畠山	骨、筋、神経
3	10月1日	畠山	骨 3
4	10月22日	畠山	神経 3
5	10月22日	畠山	内臓 3

<組織学>

担当教員	稲井 哲一朗、児玉 淳
学習方法	前期の授業（月日まで）は、組織学総論・各論、口腔組織学、歯の解剖学のサブノートを中心に基本事項を復習し、実力試験で理解度を確認し、理解が不足しているところを歯住する。後期の授業で問題演習を行う。□
事前事後学習方法	授業前にサブノートに目を通して、授業に臨む。疑問に思う点を事前に確認して、授業中に解決できるように十分に準備する。
参考書	知識の確認はサブノート。問題演習は実践の必修、基礎上巻。
その他伝達事項	実践の歯科医師国家試験過去問を丁寧に解く。 →正答選択肢だけでなく、誤答選択肢に関連する用語等をチェックする。 →問題に関連する領域の知識を再確認し理解しておく（どんな改題があり得るかを考えてみる）。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1, 2	5月18日	児玉 淳 稲井 哲一朗	歯の解剖学 歯（エナメル質、象牙質・歯髄、セメント質）、加齢変化
3	6月10日	稲井 哲一朗	歯周組織、口腔粘膜、舌
4	6月25日	稲井 哲一朗	軟骨と骨、唾液腺、顎関節
5	7月3日	稲井 哲一朗	組織学総論・各論 1
6	7月20日	稲井 哲一朗	組織学総論・各論 2
7	7月22日	稲井 哲一朗	歯の発生
8	8月19日	稲井 哲一朗	発生学（初期発生、頭頸部の発生）
9, 10	8月31日	稲井 哲一朗	問題演習 1
1, 2	10月19日	稲井 哲一朗	問題演習 2, 3
3, 4	11月9日	稲井 哲一朗	問題演習 4, 5

<病態構造学>

担当教員	橋本修一、谷口邦久、朔 敬、岡村和彦、岡野慎士
学習方法	サブノートを中心に講義内容を理解するとともに、幅広い領域の重要な部分を理解する。 国家試験問題の過去問を解くとともに出題傾向を探り、対策問題についても学習する。
事前事後 学習方法	サブノートの内容を事前に予習し授業に臨む。疑問に思う点を事前に確認しておく。 講義後は、講義・サブノートの内容を復習し疑問点を克服することで知識を確実なものとしていく。
参考書	2年、3年生の系統講義で使用した教科書を参考にサブノートを中心に講義を行う。
その他 伝達事項	国家試験対策として 過去問を丁寧に取り扱い、派生的、応用的な内容につき発展的理解に努める。 →正答選択肢の理解に加え、誤答選択肢の意味や比較肢とされた意義についても理解する。 →誤答選択肢も重要な内容が多く、他年度で正答選択肢とされていることもあるので注意する。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1, 2	5月19日	朔	サブノート 第5章～9章 (p40～p70)
3	6月4日	朔	サブノート 第5章～9章 (p40～p70)
4	6月23日	岡野	サブノート 第10章～11章 (p70～p84)
5	6月23日	橋本	サブノート 第12章 (p85～p109)
6	7月17日	岡村	サブノート 第13章～14章 (p109～p125)
7, 8	7月29日	岡村	サブノート 第13章～14章 (p109～p125)
9	8月25日	谷口	サブノート 第1章～4章 (p2～p40)
10	8月25日	岡野	サブノート 第10章～11章 (p70～p84)
11, 12	9月16日	谷口	サブノート 第1章～4章 (p2～p40)
13, 14	10月27日	橋本	サブノート 第12章 (p85～p109)

<細胞生理学>

担当教員	岡部幸司、岡本富士雄
学習方法	サブノートに掲載した項目を中心に、不足する部分や他教科と関連する部分、また、国試に出題されやすい項目を解説する。
事前事後学習方法	Moodleに掲載した授業動画を講義の事前および事後に視聴し予習復習する。授業後はMoodleの小テストを受け、自身で授業の理解度を確認する。
参考書	なし（サブノートを中心に授業をします）
その他 伝達事項	●e-learning 教材「生理学・口腔生理学の概要」や練習問題・テストの活用 ●2年、3年での講義資料・授業ノートでの再確認

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	5月11日	岡部	細胞小器官と膜輸送、活動電位の発生、受容体とシグナル伝達について
2	5月11日	岡本	体液区分と浮腫の成因、脱水、酸塩基平衡について
3	5月21日	岡本	末梢神経と中枢神経の機能概要、運動路と感覚路、睡眠と脳波について
4	6月25日	岡部	運動と反射、顎運動や口腔機能に関わる中枢、筋の収縮について
5	7月13日	岡部	感覚、口腔感覚と機能、味覚、嗅覚、聴覚、視覚について
6	7月13日	岡本	内分泌の基本事項（ホルモンの種類と作用、フィードバック機構）について
7	8月17日	岡部	嚥下、嘔吐、唾液分泌、発声について
8	8月17日	岡本	内分泌（血糖調節、摂食調節、骨代謝調節）について
9	9月8日	岡本	血液の機能（造血と貧血、血液型、止血機序）について
10	10月5日	岡部	咀嚼と運動調節と中枢性制御機構について
11	10月5日	岡本	循環と呼吸（心臓の機能、循環調節、呼吸調節、換気障害）について
12	11月2日	岡部	口腔機能の反射性調節機構について
13	11月2日	岡本	消化と吸収について（消化管ホルモン、消化酵素、肝臓の機能）について

<分子機能制御学（薬理）>

担当教員	八田 光世
学習方法	薬物療法の基本(1)-(3)：実力試験1-3の範囲 ①サブノートを使用し、重要ポイントの確認と国家試験過去問の解説をする。②理解度テストを行い、弱点項目を見つける。③再度、サブノートに戻って弱点項目を補強する。 薬物療法各論(1)-(4) 疾患治療に用いる薬物の「まとめ授業」を行う。サブノートを使用し、重要ポイントの確認と国家試験過去問の解説をする。 総合分析テスト 薬理学の総合的な分析テストにより達成度を調べ、最終的な弱点項目の克服を図る。
事前事後学習方法	事前学習：あらかじめサブノートに目を通しておくのが望ましい。 事後学習：サブノートと理解度テストの見直しを行い、弱点項目を補強する。
参考書	サブノートを中心に授業をするが、薬理学の教科書などを手元に置いておくのが望ましい。
その他伝達事項	①サブノートに出てくる薬物名や用語はすべて覚えておくこと。 ②サブノートの項目と試験問題（理解度テストや実力試験、予備校模試など）を結び付けて復習すること。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1, 2	5月13日	八田 光世	薬物療法の基本(1)：薬理作用、臨床試験・法的規制、作用部位機序など ①重要ポイントおよび国家試験過去問の解説、②理解度テスト
3	5月27日	八田 光世	③弱点項目の補強
4, 5	6月17日	八田 光世	薬物療法の基本(2)：薬物動態、薬物の連用、相互作用など ①重要ポイントおよび国家試験過去問の解説、②理解度テスト
6	7月10日	八田 光世	③弱点項目の補強
7, 8	8月5日	八田 光世	薬物療法の基本(3)：副作用、適用上の注意、医薬品情報など ①重要ポイントおよび国家試験過去問の解説、②理解度テスト
9	8月24日	八田 光世	③弱点項目の補強
1, 2	10月13日	八田 光世	薬物療法各論(1)-(3)：鎮痛薬・抗炎症薬、抗感染症薬・抗腫瘍薬、止血薬・抗血栓薬、代謝改善薬、緊急時に用いる薬物 まとめ授業
3, 4	10月28日	八田 光世	薬物療法各論(4)：局所麻酔薬、全身麻酔薬、中枢神経作用薬、末梢神経作用薬 まとめ授業 総合分析テスト

<分子機能制御学分野・生物>

担当教員	藤兼亮輔、日高真純
学習方法	国家試験の過去問題と関連させながら、基礎生命科学の必修領域を説明する。
事前事後 学習方法	事前にその日の講義関連問題に回答し、自分の苦手領域の克服を目的として講義に臨んでください。
参考書	サブノート
その他 伝達事項	サブノートに記載の関連問題の正答率は80%以上が求められます。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	5月21日	藤兼	細胞の構成成分、細胞小器官、代謝
2	7月20日	日高	遺伝情報の発現と伝達、染色体分配と遺伝
3	8月21日	日高	細胞周期、細胞死、バイオテクノロジー、細胞間接着と細胞外マトリックス

<口腔健康科学・社会歯科学>

担当教員	埴岡 隆、谷口奈央、島津 篤、内藤麻利江、渡辺 猛
学習方法	口腔保健・社会歯科の内容について、サブノートを使用して5年の広範な統合知識の精度を深めるとともに、国試過去問を通じて歯科医師に必要な知識の習得内容に漏れがないかどうかを確認する。
事前事後学習方法	授業前にサブノートの記載内容について4年までに使用していた口腔保健の教科書や社会歯科のプリントに立ち返り、口腔保健・社会歯科の内容を確認し、授業後は国試過去問で理解が不十分な点を確実に身につける。
参考書	4年まで使用していた衛生学・公衆衛生学ならびに口腔保健・予防歯科学の教科書、4年社会歯科学講義プリント
その他伝達事項	積みあげ、繰り返し、の学習を中心に、歯科医師に必要な知識を国家試験問題を足掛かりとして、身につける。国家試験の正答選択肢には深く掘り下げ、誤答選択肢については、関連する用語等に範囲を広げて、歯科医師としての自らの能力を拡大することに努めること。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	5月7日	渡辺 猛	医療法 社会p01-12
2	5月7日	渡辺 猛	医療法、薬機法 社会p12-23
3	5月14日	埴岡 隆	序論、行動科学 p2-9
4	5月14日	島津 篤	人口 p120-135
5	5月28日	埴岡 隆	口腔疫学 p10-16
6	5月28日	島津 篤	大気・水質 p136-151
7	6月11日	内藤麻利江	上記ページ総括
8	6月11日	渡辺 猛	医療職種に関する法律 社会p24-40
9	6月18日	渡辺 猛	医療保険に関する法律 社会p41-54
10	6月18日	渡辺 猛	社会保障に関する法律 社会p54-70
11	7月2日	内藤麻利江	上記ページ総括
12	7月2日	島津 篤	地球環境・温熱 p152-167
13	7月8日	埴岡 隆	口腔指標(1) p17-26(p10-16)
14	7月8日	島津 篤	感染症 p168-175
15	7月27日	渡辺 猛	保健に関する法律 社会p71-85
16	7月27日	島津 篤	フッ化物 p67-85
17	7月30日	渡辺 猛	保健に関する法律、国際保健 社会p86-96
18	7月30日	渡辺 猛	国家調査、医療倫理宣言 社会p97-108
19	8月6日	埴岡 隆	口腔指標(2) p17-26
20	8月6日	渡辺 猛	医療法、薬機法 社会p01-23
21	8月27日	埴岡 隆	禁煙指導、成人保健 p27-30
22	8月27日	島津 篤	学校1 p111-119
23	9月7日	内藤麻利江	上記ページ総括
24	9月7日	島津 篤	衛生学1 p120-175
25	9月10日	渡辺 猛	医療職種と医療保険に関する法律 社会p24-54
26	9月10日	谷口奈央	唾液・ペリクル p45-47
27	9月17日	埴岡 隆	職域保健 p31-33/p34-38
28	9月17日	谷口奈央	プラーク・着色 p48-50
29	10月1日	内藤麻利江	上記ページ総括
30	10月1日	谷口奈央	口臭 p54-57
31	10月8日	渡辺 猛	社会保障に関する法律 社会p54-70
32	10月8日	渡辺 猛	保健に関する法律 社会p71-93
33	10月15日	島津 篤	フッ化物 p67-85
34	10月15日	谷口奈央	食生活・甘味料 p96-99
35	10月22日	島津 篤	学校2 p111-119
36	10月22日	島津 篤	衛生学2 p120-175
37	10月29日	渡辺 猛	国際保健、国家調査、医療倫理宣言 社会p94-108
38	10月29日	谷口奈央	母子・乳幼児1 p106-107
39	11月12日	内藤麻利江	上記ページ総括
40	11月12日	谷口奈央	母子・乳幼児2 p108-110

<総合歯科学分野>

担当教員	廣藤卓雄
学習方法	サブノートと配布プリントを使用し、概略とポイントを説明し、その疾患に関連した国家試験問題を、誤解しやすい部分を強調し、解説する。
事前事後学習方法	サブノートの該当箇所に目を通し、理解できない箇所は教科書、参考書、実践の該当箇所を読む。疑問に思ふ点を事前に確認しておく。事後は、配布プリントの強調箇所に目を通し、その疾患の問題を実践でチェックする。
参考書	新版歯科医療管理 医歯薬出版、歯科医療面接アートとサイエンス 砂書房
その他伝達事項	幅広い領域であるが、必修領域が多いので確実に理解することが重要である。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	5月15日	廣藤卓雄	医の倫理、生命倫理、歯科医師のプロフェッショナリズム
2, 3	6月10日	廣藤卓雄	薬害、臨床試験
4, 5, 6	6月24日	廣藤卓雄	医療面接、医療保険と診療録、医療情報と管理
7, 8	8月12日	廣藤卓雄	医療安全、院内感染対策
1, 2	9月29日	廣藤卓雄	院内感染対策、患者の尊厳と患者の権利
3, 4	11月17日	廣藤卓雄	口臭、重点項目

<生体構造学講座：法歯学>

担当教員	児玉 淳
学習方法	過去の国家試験問題，模擬試験問題から傾向を知り，応用していく。
事前事後 学習方法	
参考書	法歯科医学（永末書店）：図書館
その他 伝達事項	法歯学的基礎知識を理解する。（解剖の種類，死体現象，関連法規，幼児虐待）

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	6月19日	児玉	死体解剖と死因究明制度
2	6月26日	児玉	個人識別における頭蓋の重要性
3	8月11日	児玉	歯科医師と関連法規，幼児虐待について
4	8月11日	児玉	大規模災害時における検視と法医学・法歯学
5	10月15日	児玉	死後変化，異状死，身元確認の方法，死後変化について
6	10月15日	児玉	歯科的個人識別デンタルチャートの作製方法

<解剖実習>

担当教員	香川, 玉置, 池邊, 橋本, 児玉
学習方法	遺体を用いた臨床解剖
事前事後 学習方法	頭・頸部局所解剖として, 放射線学, 矯正学, 口腔外科学, 解剖学を復習する
参考書	
その他 伝達事項	

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	5月25日	香川	頭・頸部のX線写真の読影について
2	5月25日	児玉	頭・頸部の骨について
3	6月1日	香川	頭・頸部のX線写真の読影について
4	6月1日	児玉	頭・頸部の骨について
5	6月8日	玉置	側面頭部エックス線規格写真の計測点、計測基準線と頭蓋骨の構造との関係
6	6月8日	玉置	顎整形力の作用部位と作用方向
7	6月15日	香川	頭・頸部の隙について
8	6月15日	児玉	頭・頸部の筋, 脈管, 神経, 内臓について
9	6月22日	池邊, 橋本	頸部郭清術について
10	6月22日	池邊, 橋本	頸部郭清術について

授 業 要 綱

編集
発行 福岡歯科大学

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号
電話 092 (801) 0411番 (代)
Fax 092 (801) 0427番